

ステアリング学習リモコン赤外線タイプ
SONY ロータリーコマンダー RM-X4S 専用

取り付け解説書



安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両	5
取り付けに関する注意事項	5
取り付け方法	6
設置後の確認	6
LEDの設置位置は十分ご検討ください	7
リモコンの学習	8
プリセットデータを使用した場合の学習方法	9
本体内蔵のプリセットデータについて	10
プリセットデータで設定される内容一覧	11
機能設定（消音機能）を行う	12
ロータリーコマンドの回転方向を設定する	13
トラブルシューティング	14

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----|
| 1. 学習リモコンユニット | 1台 |
| 2. 取り付け解説書（本解説書） | 1部 |
| 3. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1部 |
| 4. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個 |

各配線の説明

ユニット本体からは2本の配線と1本のロータリーコマンダー接続用ミニジャック線、1つのループ線、1つの赤外線LED付き配線が出ています。使用している電線はAWG22(約0.33SQ相当)です。添付品以外のワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

黒 (-) GND (車両アース)

赤 (+) +12V ACC 電源

太黒 ロータリーコマンダー接続用配線、ミニジャック付き

灰 / 若草 この配線にはコネクタが付いています。赤外線LEDハーネスのコネクタを差し込みます。

動作について

◇ユニットの動作は大きく分けて2つになります

・学習モード

ユニットは、カーナビ等の赤外線リモコンを解析・記憶します。

取り付け後、最初に学習作業を行う必要があります

※プレ学習モデルを除く

・通常使用モード

ロータリーコマンダーを操作すると、赤外線LED部からリモコン信号を発光させます。これによりステアリングスイッチを押した、カーナビ等の赤外線リモコンのボタンを押した場合と同じ動作をカーナビ等にさせることができます。

※ロータリーコマンダーはそれぞれのボタンに独立したコードを記憶できます。

※社外製のカーナビをご使用の方はカーナビに付属するリモコンのキーを学習させればロータリーコマンダーでカーナビを操作することができます。

取り付けできる車両

社外品のカーオーディオ／カーナビを取り付けており、ソニーロータリーコマンダー RM-X2S, RM-X3S, RM-X4S をお持ちであれば取り付け車種は不問です。

取り付けに関する注意事項

ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当方は一切責任を負いません。

また、赤外線発光LED部はお子様の手の届かない場所に取り付けてください。万が一お子様が口にくわえたりした場合、感電する危険があります。

本品はカーAVシステム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

取り付け方法

本製品を使用する為に接続しなければならない配線は2本です。黒線は車両アース、赤線は+12V ACC 電源（アクセサリ電源）に接続してください。アクセサリ電源とは、イグニッションキーを「ACC」又は「ON」の位置にしたときに+12V が得られる電源です。カーオーディオ裏や、シガーライターの裏などで接続することができます。

設置後の確認

- ユニット本体の配線が終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認してください。
- ユニット本体はリモコンを学習させるまでは手元に引き出しておいてください。
- リモコンの学習が終わったら、ユニット本体をカーナビ裏の配線の束等にビニールテープで固定してください。固定する際にあまり強く巻きつけたリカーナビ本体と干渉する位置には取り付けないでください。ユニット内部の部品が破損したり変形してショートする危険があります。
- 学習内容をたびたび変更する可能性がある場合は、ユニット本体をいつでも見える場所や、用意に引き出せる場所に設置してください。
- 赤外線LED部はカーナビのリモコン受光部近くに受光部へ向けて設置します。赤外線LEDがカーナビの方向に向いていれば、2m程度までなら離れていても操作可能です（カーナビの機種によっては距離をとれない場合もあります）
- 赤外線LEDは指向性が強くできており、正面以外では信号が大きく減衰します。なるべくカーナビへ向けた状態で設置してください。カーナビの真横など、ごく近くに設置する場合はある程度の角度がついても動作します。

※赤外線LED部の熱収縮チューブ部分は無理な力をかけたり、大きく曲げたりしないでください。赤外線LED内部が断線し、故障の原因となります。

LEDの設置位置は十分ご検討ください

本ユニットは黒 / 黒灰コード先にある「赤外線 LED」部から赤外線リモコンと同じ「光」信号を出力し、カーナビ / カーオーディオを操作しています。赤外線 LED は視野角が狭く、ご家庭でテレビのリモコンを操作するときの様に、操作の対象となる機器に向けないと動作しなかったり反応が鈍くなったりしますので、**設置位置 / 角度は十分検討してください。**

MEMO

※赤外線 LED が出力している光は目に見えません。カメラには映りますので、実際に視野角を目視で確認するには、デジカメか携帯電話のカメラの液晶ファインダーで確認してください。

※赤外線は反射する時に大きく減衰します。設置位置は次のポイントに注意してください。

1. 操作の対象となる機器の間に遮蔽物しゃへいが無いこと

2. なるべく直接光で操作できる設置を選択すること

■カーナビ横の隙間を埋めるパネル等、操作の対象となる機器が極近くにある場合は反射光や側光でも十分操作可能です。この場合は付属の LED 固定部品は使用しないでください。

3. 添付の LED 固定部品を使用すると、LED の頭の部分が固定部品に少し埋まるため指向特性が更になり狭くなりますので、ご注意ください

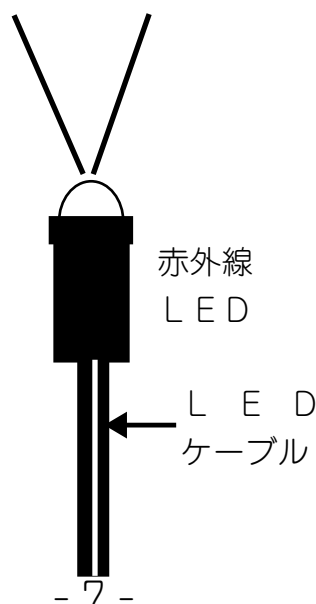
○取付け位置の例 1 : ナビの隙間を埋めるサイドパネル (トヨタ車)

○取付け位置の例 2 : 上部ルームランプ (マップランプ) に埋め込み

×インパネ部のスイッチブラंक ⇒ 場合により操作できない

×ハンドルコラムカバー部 ⇒ 腕により光信号が遮光される

指向特性は約 30 度です



リモコンの学習

リモコンの付属しないカーナビ／カーオーディオは次ページを参照

◇次の手順でカーナビの赤外線リモコンを学習させてください。

1. キーシリンダーへキーを差し込みます
2. ロータリーコマンダーの「学習させたいボタン」（例：ソース切り替えボタン）を押しながらキーをACCへ廻します。プッシュスタート式の車種の場合は、ACC電源ONの状態（カーナビがONになる状態）にしてください。
3. ロータリーコマンダーのボタンをそのまま押したままにしていると1秒経過後に長いビープ音が1回鳴ります。ビープ音が鳴ればロータリーコマンダースイッチのボタンから指を離します。
4. ビープ音が鳴ってから10秒以内に**ユニット本体の受光部（基板上の配線が出ている側とは反対側に搭載されています）**へ学習させたい**カーナビの赤外線リモコン**を向けて、学習させたいボタンを押します。
※長いビープ音が2回鳴り終わるまで押し続けてください。
5. カーナビの赤外線リモコンのボタンから一旦指を離し、**再度同じボタン（カーナビの赤外線リモコンのボタン）**を押します。
※長いビープ音が3回鳴り終わるまで押し続けてください。
6. 以上で学習は完了です。ロータリーコマンダーの全ボタンに対し、1つずつ行う必要があります。他のボタンを学習させたい場合はイグニッションキーを一旦OFFにしてから手順2へ進んでください。

◇学習が終了したら赤外線LEDをカーナビに向け、ロータリーコマンダーを操作するとカーナビが操作できることを確認してください。

※短いビープ音が5回鳴った場合は学習失敗です。トラブルシューティングを参照して原因を特定してください。

※学習時にあまり学習リモコンユニットと学習させたいリモコンを近づけないでください。ユニットとリモコンは1m程度離して学習してください。

※手順5でリモコンのボタンを押してもビープ音が鳴らない場合は、リモコンのボタンを一旦離し、一呼吸おいてから再度同じボタンを押してください。

プリセットデータを使用した場合の設定方法

赤外線リモコンが付属しないカーナビをお使いの方や、手っ取り早く動作確認を行いたい方の為に、リモコンデータをプリセットしています。簡単な操作を行うことにより、リモコン不要で初期設定を行うことができます。

※ユニットの取り付けが完了している必要があります。

◇プリセットデータで初期設定を行うには次の操作を行います

1. ロータリーコマンダー先端にある「SOURCE」ボタンを押しながらキーをACCに廻す（プッシュスタート式の車種の場合はブレーキを踏まずにスタートボタンを1回押します）。長いビープ音が1回鳴ればロータリーコマンダーから指を離す。

※この部分の操作は通常の学習時と同じです

2. ロータリーコマンダーの「SOURCE」ボタンを1回押します。すると、短いビープ音が1回（ページ番号1を示す）鳴ります。もう1度「SOURCE」ボタンを押すと短いビープ音が2回（ページ番号2を示す）鳴ります。任意のページ番号を決定してください。

次ページにある表を参照して、お使いのカーナビ／カーオーディオメーカー名の記載があるページ番号を選択してください。

3. 次ページにある表を参照して、お使いのカーナビ／カーオーディオメーカー名の記載がある操作を行います。ロータリーコマンダーの「**音量アップ**」、「**音量ダウン**」、又は「**シーク+（次の曲へ）**」、又は「**シーク-（前の曲へ）**」のうち、何れかの操作をしてください。
4. 設定が完了すると長いビープ音が3回鳴り、続けて短いビープ音が数回（設定されたメーカーにより2回～9回）鳴ります。この操作により、ロータリーコマンダーの全ての操作（12種の操作）全てに一括して設定が完了しました。

MEMO

※手順2の操作をする前にユニットから長いビープ音が2回鳴って、学習が進んでしまう場合は、ユニットを暗い場所に移動するかユニットを手や紙などで覆って外光が入らないようにしてください。

※プリセットデータを使用して初期設定を行うと、全ての操作内容が書き換えられます。お使いの機種メーカー名を正しく選択しないと全てのボタンが使用不可となります。この場合は再度設定を行ってください。

本体内蔵のプリセットデータについて

設定方法は前々ページを参照

プリセット機能で設定されるメーカー名は下記の通りです。

※メーカー名が合致しても、お使いの機種によっては一部又は全てのボタンが使用できない場合があります。

※音量アップ、音量ダウン、シーク+（次の曲へ）、シーク-（前の曲へ）以外の操作を行うと、エラー音（短いビープ音5回）が鳴り、プリセット設定モードは終了します。

◆ページ番号1

・音量アップ（左側設置設定では反時計方向）

⇒ クラリオン（アゼスト）カーナビ RCB-165-540, RCB-202-500
クラリオン（アゼスト）カーオーディオ RCB-176-500 リモコンを設定

・音量ダウン（左側設置設定では時計方向）

⇒ イクリプス RMC101 リモコンを設定

・シーク+（次の曲へ）（左側設置設定では反時計方向）

⇒ アルパイン RUE4208 リモコンを設定

・シーク-（前の曲へ）（左側設置設定では時計方向）

⇒ サンヨー NVP-RDTV1 リモコンを設定

◆ページ番号2

・音量アップ（左側設置設定では反時計方向）

⇒ ケンウッドカーオーディオ用 RC527J リモコンを設定

・音量ダウン（左側設置設定では時計方向）

⇒ ケンウッド HDV-909DT 専用 NA-R909 リモコンを設定

・シーク+（次の曲へ）（左側設置設定では反時計方向）

⇒ パイオニアカーオーディオ用 CD-R500 リモコンを設定

・シーク-（前の曲へ）（左側設置設定では時計方向）

⇒ サンヨー NVP-RSD1、RSD10DT、R260DT
パナソニック CA-PRSD1D リモコンを設定

MEMO

※プリセットデータで設定されるボタンは固定データとなり、カスタマイズはできません。設定されるボタン内容の詳細は次ページをご覧ください。

※プリセットデータの内容や、収録機種は予告無く変更する場合があります。

※ページ3は本体機能の設定です。「機能設定を行う」ページを参照してください。

プリセットデータで設定されるボタン内容一覧表

	SOURCE	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
イクリプスカーナビ	ソース切替	現在地	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
クラリオンナビ / オーディオ	ソース切替	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
アルパイン RUE-4208	ソース切替	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
サヨ NVP-RDTV1	AUDIO	現在地	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
ケンウッド RC527J	ソース切替	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
ケンウッド NA-R909	ソース表示	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
パイオニア CD-R500	ソース切替	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
サヨ NVP-RSD1	MODE/AV	MUTE	VOL+	VOL-	CH+(TV)	CH-(TV)

	DISC+	DISC-	OFF	MODE	DISP	SEL
イクリプスカーナビ	DISC+	DISC-	電源	メニュー	画面呼出	情報
クラリオンナビ / オーディオ	詳細	広域	現在地	BAND	AV	発話
アルパイン RUE-4208	十字上	十字下	FUNC/AV	現在地	PLAY	VISUAL
サヨ NVP-RDTV1	PAGE+	PAGE-	電源	メニュー	広域	詳細
ケンウッド RC527J	FM+	FM-	*	2-ZONE	PLAY	AUD
ケンウッド NA-R909	FM+	FM-	AV	PLAY	広域	詳細
パイオニア CD-R500	DISC+	DISC-	PAUSE	BAND	DISP	LIST
サヨ NVP-RSD1	FF	REW	現在地	PLAY	PAGE-	PAGE+

※ DISC+、DISC- はつまみを押しながら回転する操作です

MEMO

- ※カーナビ／カーオーディオの機種により全ての操作ができない場合があります。
- ※カーナビ／カーオーディオの機種によりソース切替ボタンを押すと画面に一覧が表示され、タッチパネルを押す必要がある場合があります。
- ※カーナビ／カーオーディオの機種によりソース切替／MUTE が利用できません。これは機器側に機能が用意されていない為です。
- ※つまみを回転する操作（VOL+、VOL-、SEEK+、SEEK-、DISC+、DISC-）はロータリーコマンダー本体を右側・左側のどちらかに設置するかにより方向を反転することができます。設定方法は次ページをご参照ください。

機能設定（消音機能）を行う

MEMO

※プリセットデータ設定操作のページ番号3は本体機能の設定を行うことができます。

◆ページ番号3

- ・ 音量アップボタン 本体機能の設定を行う
⇒ □ロータリーコマンダー操作時のクリック音をONにする
- ・ 音量ダウンボタン 本体機能の設定を行う
⇒ □ロータリーコマンダー操作時のクリック音をOFFにする

■ ON設定になった場合
ピピピ・ピーピーピー

■ OFF設定になった場合
ピピ・ピーピーピー

ロータリーコマンドの回転方向を設定する

ロータリーコマンドはステアリングの右側／左側のどちらかに設置するかにより回転操作が反転します。本機はどちら側に設置しても快適に操作できるように回転方向反転機能を搭載しています。

※初期設定では回転方向はステアリング左側設置設定になっています。

◇回転方向の設定を行うには次の操作を行います

1. キーをOFFの状態にします。
2. ロータリーコマンドのボリュームつまみを押しながら（回転させない）「DISP」又は「SEL」ボタンを押す。押すボタンにより左右どちらかの設定となります。
「DISP」スイッチ（三角形のボタンです）では左側設定
「SEL」スイッチ（中央に線が入っているボタンです）では右側設定
3. ロータリーコマンドのつまみ・ボタンを押したままキーをACCに廻す（プッシュスタート式の車種の場合はブレーキを踏まずにスタートボタンを1回押します）。すると下記ビープ音が鳴り、設定が完了します。

■左側設定になった場合
ピピー・ピピー・ピピー

■右側設定になった場合
ピピー・ピピー

MEMO

※プリセットデータを使用しない場合でも、学習してから左右の設置設定を行うと回転方向は反転します。

トラブルシューティング

学習操作をしてもビープ音が鳴らない（全く動作しない）

1. 配線を全て確認してください。特に電源の接続を確認してください。
2. ビープ音の音量は小さめに設定してありますので、聞こえにくい場合があります。オーディオはOFFにするなど、周囲の音を小さくしてください。

ロータリーコマンドの一部のみしか学習できない

接触不良でスイッチを誤認識している可能性があります。ロータリーコマンドのミニジャックへ確実に差し込まれているかを確認してください。

学習が失敗する（短い音が5回鳴って失敗する場合）

1. 学習リモコンユニット本体が目視できない程奥に設置されていませんか？本体を手元に取り出して、学習作業を行ってみてください。
2. 学習時にカーナビの赤外線リモコンを向ける先を間違っていないですか？
カーナビの赤外線リモコンはユニット本体に向けて操作してください。
もし、ユニット本体の設置が完了しており、目視できない位置にある場合は再度取り出してから学習してください。なお、白/黒コード先についている豆状の部品は赤外線LEDです。
3. 学習作業を行う際に時間がかかっていませんか？学習操作をしてから10秒以内に学習しない場合は、ビープ音が5回鳴って学習モードが終了します。その場合は10秒以内に学習させるようにしてください。
4. 学習手順を間違っていないですか？学習時に学習させたい赤外線リモコンのボタンを押すタイミングで間違えてステアリングスイッチのボタンを押すミスがよくあります。押す手順は「**ロータリーコマンド**」⇒「**カーナビのリモコン**」⇒「**カーナビのリモコン**」です。

学習が失敗する（リモコンのボタンを押しても長いビープ音が鳴らない場合）

1. LEDのフットランプ等が近くにありませんか？LEDのランプはパルス制御で光量制御しているものが多く、赤外線リモコンと干渉します。学習時にはLEDのランプ類は消灯しておいてください。
2. カーナビの画面の光が直接ユニット本体にあたっていますか？一部のカーナビの液晶画面に使用されている光源が学習作業時の赤外線信号に悪影響を及ぼすことが確認されています。液晶画面の光の影になるような位置にユニット本体を置き、再度学習作業を行ってください。
3. すべて確認しても学習が失敗するときはそのリモコンを学習することができない可能性があります。ソニーのハイバンドリモコンは学習できません。

学習が失敗する（正常に学習が完了するが、機器を操作できない場合）

1. 学習リモコンユニット本体が目視できない程奥に設置されていませんか？コード類の奥にユニット本体を設置すると、赤外線リモコンの光が乱反射して、正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。
2. 学習手順を間違っていないですか？一部の車種用を除き、ユニットには復元機能を搭載しています。学習手順を間違えると復元機能が働き、全ボタンの学習内容を書き換えます。正しい学習操作手順は「ロータリーコマンダー」⇒「カーナビの赤外線リモコン」⇒「カーナビの赤外線リモコン」です。

ロータリーコマンダーでカーナビを操作しても反応が鈍い

1. 日中に反応が鈍くなる場合は、赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。
2. いつも反応が鈍い場合は赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。赤外線LEDを手で持って直接カーナビに向けてからステアリングスイッチを操作しても反応が鈍い場合は、リモコン信号の学習に失敗している可能性があります。コード類の奥にユニット本体を設置すると、赤外線リモコンの光が乱反射して、正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GAL-SRX01N	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒 545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南 3 丁目 7-11 電話 06-6131-6300